

ひとりでは越えられない壁でも  
 この仲間とならきつと乗り越えられるはず…



**TEAM巨摩!!**  
**616人の思いを乗せて**

特集…Special edition

- 令和3年度も頑張る巨摩高校!フレッシュインタビュー
- 山梨県高校総体特集《精鋭たちの快進撃!!》
- 吹奏楽部定期演奏会・野球部春季大会ほか



令和2年度 | 進 | 路 | 実 | 績 |

**国公立大学合格者 28名**  
**私立大学合格者 155名**

静岡大学、信州大学、山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学、津田塾大学等に合格

令和2年度 合格者数 (単位:人)	令和2年度 主な合格大学	私立大学
国公立大学 28	●山梨大学	●山梨学院大学
私立大学 155	●山梨県立大学	●山梨英和大学
公立・私立短大 19	●都留文科大学	●健康科学大学
専門学校等 75	●秋田大学	●獨協大学
就職 5	●信州大学	●神田外語大学
	●静岡大学	●津田塾大学
	●長野県立大学	●東京女子大学
	●諏訪東京理科大学	●亜細亜大学
		●東洋大学
		●神奈川大学
		●駒澤大学
		●他



**令和2年度進路状況を振り返って**

昨年度の入試は大学入試改革の初年度ということとコロナ禍の2つに集約されます。大学入試改革の面からは学力の担保があげられます。今までのAO入試や推薦入試から名称が変更になり、総合型選抜や学校推薦型選抜といった呼び方になったわけですが、違いは面接のみといった選抜方法がほぼなくなり、面接に加えて文章を読んで意図をしっかりと読みとり、自分の考えを表現する小論文が課されることが多くなりました。共通テストでは「思考力・判断力・表現力」をはかるために出題形式が変化しました。社会生活や日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面、資料やデータ等を基に考察する場面などの場面設定を重視する問題が主流になりました。どちらも今まで以上に早めからの対策が重要になりそうです。

コロナ禍の入試としては地元志向がさらに強くなったことです。近年、県内への進学を考える生徒が多くなったと感じていましたが、一昨年度の卒業生がオンライン形式での授業でアパートを借りたのに実家から出られなくなるなどデメリットが感じられたため、対面の授業が受けられる県内に目が行かれたように思います。もちろん経済的なメリットも大きいと思いますが、講義だけでなく学生生活の良さを取ったといえるでしょう。反面、首都圏の大学が敬遠されたためか難化したようです。積極的なチャレンジが来年度も良い結果を生むかも知れません。

kouchou sensei kara  
**Hi-To-Ko-To**  
 校長 横森 伸司

実践修進

『これから100年』に向けて



本校巨摩高等学校は、大正11年、「山梨県立第三高等女学校」として開校し、常に発展・進化を遂げながら今年で99年、来年度創立100周年を迎える伝統校であります。この間、校訓である「進修実践」のもと、約3万名の有為な人材を社会に輩出してまいりました。私たちは、「高い志と、挑戦する気概を持ち、何事にも主体的に取り組む生徒を育成する」という教育目標を掲げ、それを実現する取り組みを「巨摩スタイル」として教育活動を進めています。本校では、国際交流教育や地域と連携した教育の推進などの伝統を受け継ぎながら、独自のカリキュラムによる先進的な理数科教育を展開できる取り組みや、山梨大学と連携した教育の推進、またICT教育を取り入れた、生徒が主体的に楽しく学ぶ授業への取り組みなど、新たな伝統を築く努力を重ねているところであります。その中で子どもたちは、その伝統を築く主役として高校生活を過ごしています。

そこで、子どもたちには、二つのことをお願いしたいのです。

ひとつは、「大きな夢を持ち、その実現を目指してほしい」ということです。まずは一歩、夢に向かって、その一歩を踏み出して欲しいのです。チャレンジして欲しいのです。チャレンジすることこそ、新しいことに挑戦することです。

「思いやりと感謝の気持ち」を忘れてほしくないという事です。人は決して一人で生きていくのではなく、多くの人たちに支えられて存在していることを知ってほしいのです。自分を大切にすると同時に、自分を支えてくれている人々への感謝の気持ちを忘れずに生活して欲しいと思います。周りの人々と一緒に語り合い「考え合い」「感じ合って」、勉強、部活動や学校行事、また校外でのボランティア活動など、いろんな体験や経験を重ねると同時に、多くの立場に自分をおいて物事を考える事を心がけて下さい。

巨摩高校で学ぶ子どもたちが、持てる力を存分に発揮し、巨摩高校の伝統の善き後継者となり、新たな歴史を作り上げていくことを期待しています。

ふたつ目は、「思いやりと感謝の気持ち」を忘れてほしくないという事です。人は決して一人で生きていくのではなく、多くの人たちに支えられて存在していることを知ってほしいのです。自分を大切にすると同時に、自分を支えてくれている人々への感謝の気持ちを忘れずに生活して欲しいと思います。周りの人々と一緒に語り合い「考え合い」「感じ合って」、勉強、部活動や学校行事、また校外でのボランティア活動など、いろんな体験や経験を重ねると同時に、多くの立場に自分をおいて物事を考える事を心がけて下さい。

No.032  
 巨摩高百景

「思い出の写真」  
 校長室前の廊下には、写真部の生徒が撮影した「巨摩高歳時記」が飾ってあります。学園祭や部活動の大会など、巨摩高生の1年間の活動の様子を見ることが出来るものです。写真の前を通るたびに、様々な思い出が蘇ってきます。

写真部…今津真麻  
 【榊形中学校出身】

巨摩高だより  
**KOMAstyle** VOL.64

- 発行…山梨県立巨摩高等学校  
 〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2  
 TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
- 発行日…令和3年6月15日
- 編集…山梨県立巨摩高等学校 総務・広報部
- 撮影協力…山梨県立巨摩高等学校 写真部

巨摩高校のコト、もっと知りたかったら、ホームページにアクセス!!

巨摩高校 検索 URL…http://www.ko.kai.ed.jp/  
 E-mail…info@ko.kai.ed.jp





# 精鋭たちの快進撃!! ~山梨県高校総体特集~

関東大会優勝 弓道部女子個人 饗庭 凜 ●

関東大会出場 弓道部男女・陸上競技部男女・女子ホッケー部・体操女子個人

## 弓道部

男子団体優勝(長坂智尚・金丸大也・齋藤瑠汰) ●  
個人2位 金丸大也 ●  
女子団体3位(饗庭 凜・細川陽加・深澤花菜) ●  
個人3位 饗庭 凜 ●

## 陸上競技部

男子総合3位 ●  
110mH1位 石原秀星(大会新)・800m2位 矢崎那央・3位 仲田真悟  
5000m3位 内堀 勇・棒高跳3位 入倉清春・やり投2位 渡邊航太  
4x400mR2位 樋口 武・石原秀星・中込大地・仲田真悟

## 女子総合3位 ●

走幅跳1位・三段跳2位 土屋ゆい ●  
800m3位 清水 蒼 ●  
4x400mR3位 近藤羽純・奥田 愛・佐久間咲来・杉山璃紗  
円盤投1位・砲丸投2位 名執真生・七種競技3位 杉山璃紗

## 女子テニス部

団体戦第3位(齊藤萌奈・小田切想来・小林小糸・五味奈々・坂本真穂) ●

## バレーボール部

女子第6位 ●

## 体操女子

個人総合第6位(竹鶴 心咲) ●

### 県高校総体陸上競技 男子110mH 第1位(大会新記録)

石原 秀星(甲西中学校出身)

今回、コロナ禍の中で大会に参加させて頂いたこと、大会を安全に運営して下さった陸上専門部の先生方、陸協の方々にも感謝しています。昨年度は新型コロナウイルスの影響で、代替大会こそ実施されましたが、本格的な県総体は行われず、非常に悔しい思いをしたので、昨年の先輩方の思いも背負って一生懸命勝負しました。結果は男子総合で第3位、個人では110mHで大会新記録での優勝という結果で幕を閉じました。大会新は出ましたが、自分の目標は達成できなかったので、関東大会でこの思いを晴らして、インターハイ出場を決めたいと思います。



### 県高校総体弓道競技 男子個人 第2位

金丸 大也(櫛形中学校出身)

私は高校から弓道を始めました。最初は覚えることが多く、ミスばかりして部員に迷惑をかけていました。しかし、その度に仲間を支えられ、助けられてきました。総体の直前にも、調子を崩しチームに心配をかけました。そんな時にも仲間が厳しく指摘してくれて、調子を取り戻すことができました。



結果、総体では男子団体で優勝。個人でも2位という功績を残すことができました。これも、支えてくれ、共に切磋琢磨した仲間のおかげだと強く感じています。高校最後の部活動、仲間とともに悔いの残らない弓を引いていきたいと思っています。

### 県高校総体陸上競技 女子走幅跳 第1位・三段跳 第2位

土屋 ゆい(櫛形中学校出身)

まず初めに、3年生にとって最後の県総体が無事開催されたことに感謝したいです。陸上部では新体制となってから、男女アベック優勝、女子は総合で120点取ることを目標に頑張ってきました。総合第3位と、チームでの目標は達成することができずでしたが、一人ひとりがチームに貢献するという強い思いを持ち、気持ちを一つにして戦うことができました。3年生が3人しかいない中、1・2年生やマネージャーがサポートしてくれたおかげで、納得のいく結果を残すことができたと思います。この後、関東大会が待っているの、開催して頂けることに感謝して精一杯頑張ります。



### 県高校総体バレーボール競技 第6位

森田 風花(明野中学校出身)

私たちバレーボール部は、1月に行われるはずだった新人戦が中止になってしまったため、県総体がこのチームになって初めての公式戦となりました。新チームになった初めの頃は、全員がバラバラで勝つこともできず、注意されてばかりでしたが、それから約半年間練習を積み、チーム力を上げて試合に臨みました。1回戦、2回戦を勝ち進み、ベスト4を賭けて日本航空高校と対戦しました。負けてしまいましたが、練習以上の力を発揮することができました。結果は6位となってしまったので、この悔しさをバネに次のインターハイ予選では目標の優勝をつかみ取れるように、全員バレーで頑張ります。



# 令和3年度も頑張る巨摩高校!

新型コロナウイルス感染症については現在も厳しい状況が続いていますが、巨摩高校ではこれまで同様、感染防止対策をしっかりと取りながら、生徒の可能性を引き出す教育活動を積極的に展開していきます。

今年も1年生200人が、新たに巨摩高生の仲間入りを果たしました。その中から文武両道に励んでいる2人の新入生にインタビューしてみました。

フレッシュインタビュー



増穂中学校出身

渡邊 しほさん  
吹奏楽部

櫛形中学校出身

小林 佑真君  
サッカー部

**Q. 進学先を巨摩高校に決めた理由は何ですか?**  
小林くん 私は大学に進学したいと考えています。理数創造コースは、7校時授業や土曜学習会を行っていて、勉強に集中できる環境が整っています。さらに、巨摩高校は部活動が盛んなため、中学校から引き続きサッカー部に所属することで、高いレベルで文武両道を達成できると考えて志願しました。

渡邊さん 私は、3年間の高校生活を充実させたいと思い、巨摩高校への進学を決意しました。部活動が盛んで、家からの距離も遠くない巨摩高校なら、高いレベルで学業と部活動の両立が果たせると考えたからです。

**Q. 授業や部活動の様子はどうですか?**  
小林くん 授業は進度が速い上に、難しい問題も増えます。そのため予習や復習をする時間を作ることがとても大切です。小テストもあるため、毎日、計画的に勉強する必要があります。サッカー部では練習を全力で行うため、成長を実感することができます。また、止まって挨拶することや、素早く行動することを徹底しているため、人間性も磨かれます。

渡邊さん 授業は中学校に比べて進度が速く、内容も難しいので付いていくのが大変ですが、だからこそ毎日の予習・復習が大事なのだと思います。吹奏楽部の活動では、クラリネットパートを担当していて、毎日の練習で、できることが増えるたびに喜びを感じます。先輩方のように早く上手に吹けるようになりたいと思っています。

**Q. 担任の先生はどんな感じですか?**  
小林くん 担任の樋口先生は数学の先生で、とても話しやすいです。分からない問題を聞きに行くと、とても丁寧に解説してくれました。プロジェクトを使った授業も分かりやすく楽しいです。周りの友人と教え合いながら問題を解くこともあり、自分とは違う考え方を知ることができました。

渡邊さん 私の担任の三枝先生はいつも洗練としていて、非常に優しい先生です。HRなどでの話はとても分かりやすく、さらにクラスの一人ひとりに丁寧に接してくれる面倒見のよい先生です。

**Q. 高校生活の目標を教えてください。**  
小林くん 理数創造コースの学習環境はとても充実しているので、しっかりと努力して、自分の理想の成績を出したいと思っています。同じ目標を持つ友人たちと切磋琢磨しながら、3年間を大切に過ごしていきたいです。部活動では、競技を終えた後に悔いしないように、日々の練習に集中して取り組みたいと思っています。

渡邊さん 私はまだ将来の目標がはっきりと決まっていなくて、巨摩高校での3年間を通して様々な経験を積む中で、自分の可能性と納得できる目標を見つけていきたいです。そして文武両道に励み、充実した高校生活を送りたいと考えています。

## 吹奏楽部 第57回定期演奏会

5月8日(土)に桃源文化ホールで第57回定期演奏会が開催されました。趣向を凝らした華やかで楽しいステージに観客は魅了されていました。

### 定期演奏会、ご来場ありがとうございました

吹奏楽部 岩田 一華 (八田中学校出身)

私たち吹奏楽部は、5月8日に第57回定期演奏会を開催しました。大きな演奏会を実施するにあたり、先生方や保護者の方々、OB・OGの皆さん、生徒会役員の皆さん、桃源文化会館の方々にも多くの御協力や御指導をいただきました。部員一同心から感謝しています。定期演奏会の本番に至るまでには、沢山の不安や苦勞・上手いことなどがありませんでした。しかし、最後の最後、アンコール曲が終わった後にお客様から大きな拍手を頂くことができ、「ここまで頑張ってきて本当に良かった。」と思いました。これからも、私たちの演奏を聴いてくださる方々に届く音楽を目指して頑張っていきます。



## 野球部 春季大会で躍動

野球部は春季山梨県大会に出場し、1回戦で山梨高校に快勝、2回戦では山梨学院高校と大接戦を繰り広げる活躍を見せてくれました。

第73回 春季関東地区高校野球山梨県大会  
2回戦 対山梨 13-6  
3回戦 対山梨学院 2-3

野球部 野田 裕作 (櫛形中学校出身)

初戦の山梨高校戦、2死満塁という絶好のチャンスで回ってきた4打席目。1打席目にホームランという形で結果が出ていたため、緊張感があったものの平常心で打席に向かうことができた。ツーストライクと追い込まれた時は焦りも感じたが、後ろのバッテリーにつなぐことだけを考えて振り抜いた4球目。打球がライトスタンドに入ったのを見て、今までの努力が実を結んだことを実感した。11年間の野球人生の中で間違いなく最高の瞬間だった。夏までの残り2カ月間、リードオフマンとしてチームを引っ張れるよう、これからの練習に一生懸命励んでいきたいと思う。



## 新任職員インタビュー

### 巨摩高校に

### 赴任しました

2年担任・地理歴史科

清水 穂高 先生



### 巨摩高校の印象は?

男女とも素朴で明るい生徒が多いです。元気に挨拶してくれる生徒が多く、勉強も部活動も一生懸命取り組んでいる姿に好印象を感じています。授業や部活動、学級活動などを通して、生徒と共に「語り合い・考え合い・感じ合う」ことを大切にしていきたいです。

### どんな授業をしていますか?

1年生の世界史A、2年生の世界史Bを担当しています。1年生の授業では、絵画や風刺画から、当時の社会を読み解くといった学習活動を取り入れています。プロジェクトを使った地図や画像資料の解説、また授業後の振り返り学習などにも力を入れています。

### どんな高校時代を過ごしましたか?

高校3年間を通じてバドミントン部に所属し、毎日汗だくになりながら練習をしていました。練習は辛かったですが、体力的にも精神的にも成長することができたと思います。部活動での経験は受験勉強だけでなく、卒業後も様々な場面で生かすことができていると思います。

### 顧問をしている部活動は?

男子バドミントン部の顧問をしています。40名を超える大人数の部活動ですが、副顧問である瀧澤先生の心強いサポートのもと、関東大会出場を目指して日々の練習に取り組んでいます。感染対策を徹底し、選手達が全力でプレーできる環境を整えていきます。

### 生徒たちにメッセージを!

高校時代に動んだ経験というのは、後に皆さんの人生を強く支える柱となるはずです。勉強や部活動、読書や資格取得など、様々な物事に挑戦し、自身が打ち込めるものを見つけましょう。チーム巨摩の一員として、私も皆さんのことを精一杯応援していきます。